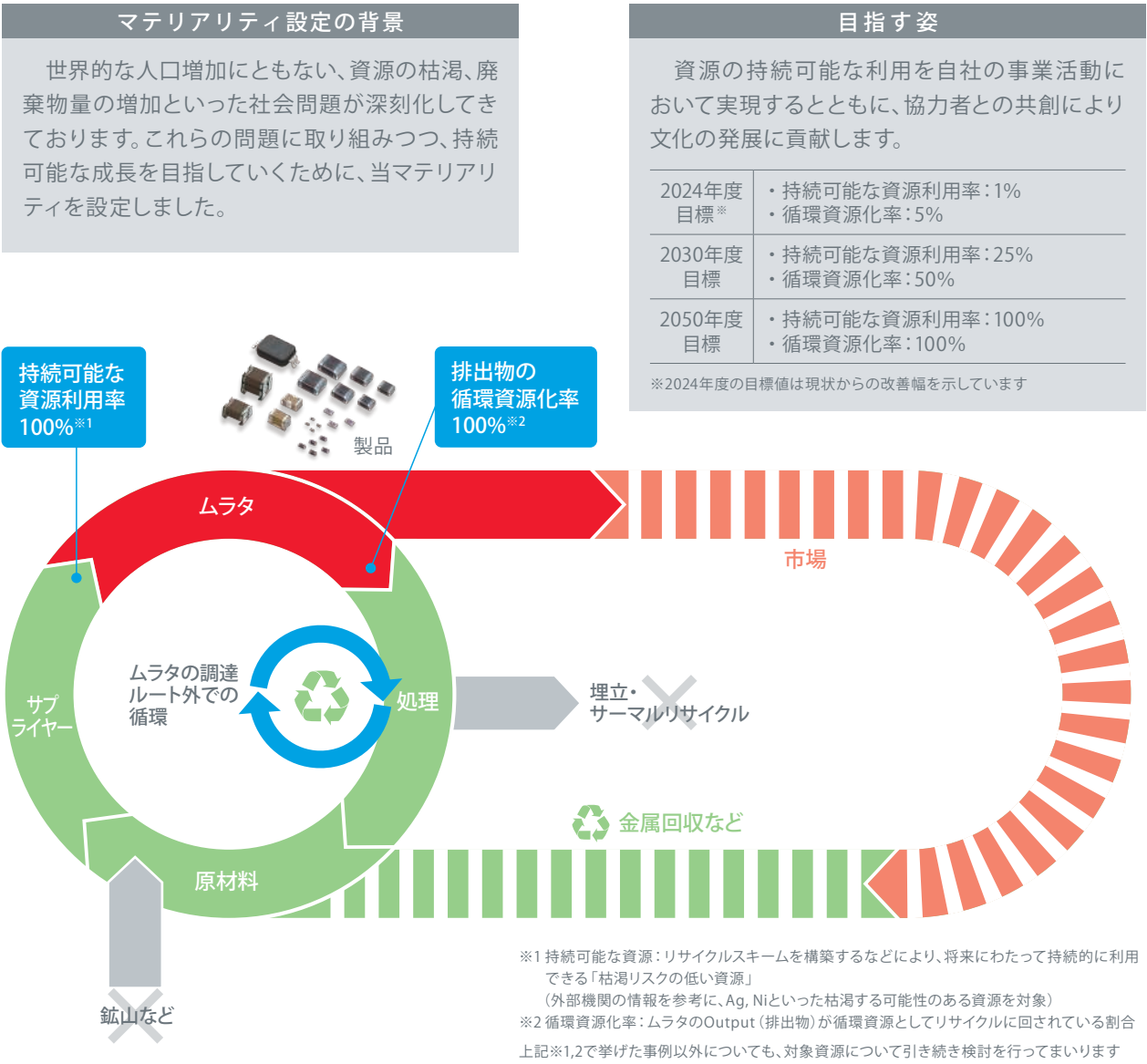


持続可能な資源利用



持続可能な資源利用実現に向けたムラタの取り組みイメージ

廃棄物管理

ムラタでは「コンプライアンス」「廃棄物の発生抑制」「ゼロエミッション（埋立量ゼロ）」を基本方針として廃棄物管理に取り組んでいます。

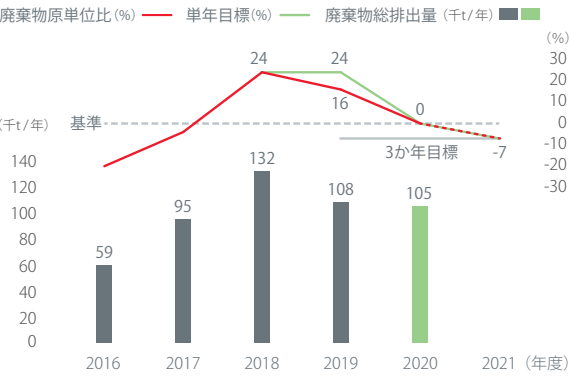
2019～2021年度中期目標（生産高当たりの廃棄物排出量の2016～2018年度平均比7%改善）に向け、2020年度は2016～2018年度平均原単位以下を目標に、製品の工法見直しや廃液処理施設の導入などの削減施策により、目標を達成しました。

また、包装材の一部を再利用やリサイクルするなど、資源の有効利用にも取り組んでいます。

今後は、工法見直しによる不良率のさらなる低減やムラタグループ間で廃液処理を行えるようにする

認定制度の利用促進などにより中期目標を達成する計画です。

廃棄物総排出量と生産高原単位の推移



水資源管理

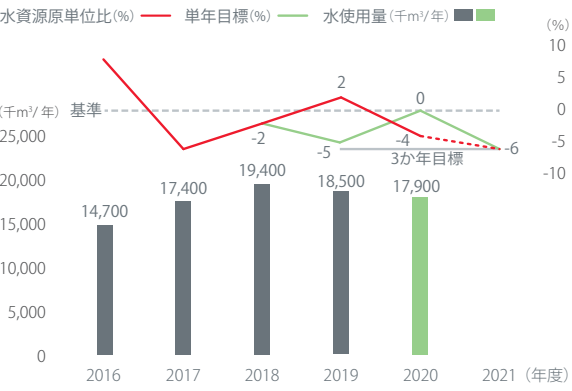
ムラタでは事業活動で使用する水資源の有効利用を推進しています。また企業活動に影響を及ぼす水に関するリスクへの対応を実施しています。

中期目標（生産高当たりの水使用量を2016～2018年度平均比で2021年度に6%改善）に向け、2020年度は2016～2018年度平均原単位以下を目標としました。2020年度の実績は2016～2018年度平均原単位比で4%減と大幅に改善し、目標を達成しました。達成の要因として、富山村田製作所（以下富山村田）における排水を再利用するといった各事業所の取り組みが挙げられます。

2021年度はさらなる水のリサイクルの促進やスク

ラバーなどの設備の節水といった施策に取り組むことで、中期目標を達成する計画です。

水使用量と生産高原単位の推移



富山村田製作所における取り組み

富山村田は富山県から2021年度のエコ事業所の認定をいただきました。※ 富山村田で取り組んでいるCO₂削減、廃棄物削減、リサイクルなどの取り組みについて評価いただき、認定されたものとなります。

富山県から評価いただいた富山村田の主な取り組み内容

<廃棄物の3Rの取り組み>

- ・主要な廃液であるアルカリ廃液を自社処理できるプラントを設置し、産業廃棄物委託から自社処理することにより、廃棄物の削減を図りました。
- ・排水を処理した水の一部を純水用の原水に使用しています。
- ・塩化第二鉄廃液を協力業者にて濃縮再生処理し、塩化第二鉄を全量再利用しています。
- ・廃棄物の埋立て処分量ゼロを継続しています。

<環境に配慮した事業活動の取り組み>

- ・ISO14001の認証を取得しており、環境目標を定めて計画的に環境活動に取り組んでいます。
- ・より環境影響の少ない製品を製造するため、RoHS規制物質を排除した部資材を利用しています。
- ・エネルギー使用量と水使用量の削減を環境目標として設定し、省エネ性のある高効率設備への更新、建屋内外の照明のLED化、排水のリサイクルなどに取り組んでいます。

富山村田では持続可能な社会を目指し、地域の自然環境を守り地域の誇りとなる企業となるべく、これからも環境経営を実践してまいります。

※ 富山県 エコ事業所認定：富山県では廃棄物の発生抑制、循環利用、環境に配慮した事業活動に積極的に取り組んでいる事業所を「エコ事業所」として認定しています。
(富山県のウェブサイトはこちらをご参照ください。https://www.pref.toyama.jp/1705/kurashi/kankyoushizen/haikibutsu/recycle1/company.html)



富山村田製作所



富山村田の廃液処理施設